

世界遺産「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群の有形・無形の価値を一体的に保護・継承するための人材育成事業運営支援及び教育マニュアル作成業務 企画提案公募（審査基準）

○ 審査方法

次の項目ごとに、その着眼点に基づいて、配点を限度とした評価点を付すことにより行う。

項目	着眼点	配点
① 業務目的との整合性	・本遺産群の価値と課題を正しく理解し、提案全体が「多層的な人材育成」と「事業終了後の持続可能な継承体制の確立」に向けた本質的なアプローチとなっているか。	5
② 研修・フィールドワークの企画力	・子どもの主体性を引き出す工夫や、大人のリスキリングを促す具体的な工夫がなされているか。	10
	・無形の価値や取材手法等を指導する専門家（講師）について、本事業の目的に合致する適切な知見・実績を持つ人物の想定や選定基準が示されているか。	10
	・宗像大社や大島での実地調査（清掃体験、生業体験、聞き取り等）について、参加者の安全確保に配慮しつつ、無形要素を効果的に抽出・体感できる具体的な内容や行程が提案されているか。	10
③ 教育マニュアル・成果物の有用性	・次年度以降の学校教育（総合的な学習の時間等）で教員が活用できる実用性の高い「基盤教材」として構築するための、具体的な作成プロセスや検討手順（教育現場等との連携手法を含む）が示されているか。	5
	・事前事後のKPI測定（アンケート等）により、シビックプライドの醸成を可視化する手法が示されているか。	5
④ 記録撮影・情報発信	・世代間交流や事業のプロセスが魅力的に記録され、SNS 広告等を活用して広く関係人口の拡大に繋がるプロモーション戦略となっているか。 ・未成年者の肖像権等に関する権利処理や、個人情報保護に対する具体的な配慮が示されているか。	10
⑤ 業務に関する知識、経験、実績、業務の実施・管理体制、経費積算の妥当性等	・提案者の経営状況、業務の運営管理・実施体制等の計画から、業務が確実に実施されると判断されるか。 ・地域協力者への貸金支払いや旅費精算、保険加入等を適正に管理する体制が構築されているか。 ・「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群保存活用協議会事務局（福岡県）との日常的なやり取りが可能か。 ・業務スケジュールは適切か。	5
合計		60

評価点は、次の基準によるものとする。

基準	極めて優れている	優れている	普通である	不十分	極めて不十分
評価点 (配点5点の場合)	5	4	3	2	1
評価点 (配点10点の場合)	10	8	6	4	2